



## ある日の授業の姿

ある日、授業の様子を見て回っていると、社会科学の1年生の教室で足が止まりました。「日本はどんな姿をしているのだろうか」「どこからどこまでが日本なのだろうか」「地図帳などで調べてみよう」と学習問題や学習課題が明確に黒板に書かれていました。「日本の一番東はどこかな?」と教師が問うと、生徒達は一生懸命地図帳の一番東を探します。「では、一番南は?」などと続けていくと、次はきっと「一番北は?」と聞くに違いないと先回りして調べている生徒の姿も散見されます。そして、排他的経済水域という言葉がでてきて、日本の排他的経済水域は、日本の国土よりも広いことを学んでいきます。同じように、インドネシアやニュージーランドは国土に比べても排他的経済水域が広いことに気がついていきます。しかし、その逆でアメリカやブラジル、オーストラリアなどは排他的経済水域の方が国土よりも狭いことに気がついていきます。そしてある生徒は発言します。「日本やインドネシアは島国だからね」と。「でも島国だからってどこの島国も国土より排他的経済水域が広いのかな」と別の生徒がつぶやいていました。今年度、小海中は「問いのある授業」や「アウトプットのある授業」を実践することを授業の目標としています。この社会の授業は「問い」もありそして「アウトプット」もある授業でした。アウトプットするには、課題をしっかりと理解していたり、疑問が明確になっていないとできません。今年度はこういった授業が増えてきていると感じます。答えのない問いにチャレンジしていく力が問われるこれからの時代、そういった力を身につける授業を実践していきます。



また、授業後には隣の教室で同じ範囲の授業をしていた教師と、「ここは、生徒からこういう問いが出てきたから、こうしてみたんだけど。」「それなら、そこはこうしてみても良いかも知れませんね。」「だけど、こうしてみてもよかったと思うんだよね。」と同じ教科の教師で授業反省会を行っていました。「問い」があり「アウトプット」もある授業反省会。そこからきっと、本当の「問いのある授業」「アウトプットのある授業」が生まれるのでしょうか。

## ストレッチ教室がありました

5月14日(火)の5時間目、理学療法士に来ていただいて、ストレッチ教室を行いました。

毎年おこなっているので、3年生は3回目ということになります。最も大切にしていたことは「姿勢」でした。どんなに一生懸命練習をしても姿勢が悪ければ、ほとんど成長できないということでした。良い姿勢は、普段から心がけることもできます。普段から良い姿勢を意識して生活してみましょう。



## 毎週火曜日の放課後は自学自習の時間

毎週火曜日は5時間授業です。冬場の部活動の時間を確保することが最初の目的でしたが、さらなる活用法として、15:10～16:10の1時間を放課後自主学習の時間とすることにしました。5教科の教科担当がそれぞれの教室に待機して、分からない所や苦手な部分を質問することもできる、そういった時間としました。もちろん、質問せずに終始自学自習でも構いません。5月7日(火)の初日は全教科で9名が参加し、翌週は16名が参加していました。「やらされる学習」から「やる学習」へ。自発的な活動は加速度的に力がつきます。頑張る小海中学生を応援します。



国語

社会

数学

理科

英語

## 授業参観・PTA総会・学年学級PTAを行いました

5月10日(金)、今年度初めての授業参観を行いました。また、年度初でありPTA総会も行いました。その後、学年学級PTAを行いました。



授業の様子



授業の様子



校長講話



新PTA役員の皆さん

学校長の講話は、次のような内容でした。

今年度は全校生徒113名でスタートしました。基準では、3学年が2クラスで、他の学年は1クラスとなるところですが、組合教委のご協力により全学年が2学級編成を組むことができいております。今日は、貴重なお時間をもらいまして今年度の学校として力を入れていきたいことを保護者のみなさんに直接お話ししたいと思います。

中学は義務教育の最終段階であり、人生で初めて自分の進路を決める難しい年ごろとなります。成人年齢が引き下げられるなど取り巻く社会も変わってきております。そのような中、これから生きていく小海中学生にどのような力が必要なのか、職員で話し合いをしてきました。

その結果がグランドデザインに表記されている4つの「重点的な取り組み」で、1つめは「問いのある活動」2つめは「アウトプットのある活動」3つめは「お互いを尊重し合う環境」4つめは「探究のある活動」です。グランドデザインはすでに各ご家庭に配布してありますので詳細お配付物をご覧ください。

これまで手厚い支援を考え、手出しや助言を出しすぎていたことが逆に生徒の主体性や成長の芽を小さくしてしまっていたのではないかと反省のもと、今年度は生徒に任せる活動や自己決定する場面を多くとっていきたくと考えております。このような学校の取り組みをご理解いただき、家庭でも支援や助言の言葉を再確認していただければと思います。

具体的な動きについて何点かお伝えします。まず1つめは、今月から火曜日放課後の時間に「自主学習」を支える体制を作りました。5教科の教科担当を5つの会場で待機させますので、質問等がある生徒放課後にその会場に行くことでサポートを受けることができます。

2つめはICTの新しい教材を導入します。これは、すでに生徒が活用を始めておりAI型の教材であることから自分のペースで学習を進めたり苦手箇所の克服をしたりすることに役立てられるのではと期待しています。

3つ目は、総合的な学習の時間を本校では「清流の時間」と言っていますが、年間の中で生徒が自己課題を見つけたり、活動を自分で決めたりするための時間を確保します。

このような取り組みの中で、ご意見やご質問がありましたら学校にお寄せいただき、必要でしたらさらなる改善を図っていきたくと思います。このあとも、校長室に私は控えておりますのでなにかお悩み等ありましたら、寄って行っていただければと思います。1年間お世話になりますがよろしくお願ひします。

## 問いのある校長講話 アウトプットのある校長講話



人権月間が5月13日（月）から6月7日（金）まで行われます。前期の人権月間の開始にあたり15日（水）に校長講話が行われました。

先生がみんなに大切にしてもらいたいことは、自分の考えを持つこと。そして、自分の考えをアウトプットすること。さらに友の考えを知ること。この校長講話をそんな時間にしてほしいです。それでは校長講話を始めます。

「OSO18さて、なんと読むでしょう。」と学校長が全校生徒に問うと「おそじゅうはち」と生徒の中から反応がありました。続けて学校長が「これは一体何の名前でしょうか」と問うと「くま」という声が聞こえてきました。「大正解です。」学校長は熊の話をするようです。このOSO18というのは北海道のヒグマにつけられた名前、足の幅が18cmもあったからだそうです。

ある日、襲われた乳牛が発見されました。そしてその場に大きな熊が現れ、すごいスピードで逃げていったそうです。それからというもの、乳牛が襲われる被害が続きました。本来は木の実が主食のはずなのになぜ牛を襲うのだろうか。さて、ここで皆さんに問います。

- ・どのような熊なのだろうか？
- ・これまでの情報をもとに一言で表してみましよう。
- ・隣の人にそう考えた理由も含めて伝えてみましょう。

と学校長から3つの問いが提示されました。生徒はそれぞれの考えを述べていました。「頭がいい」「こわい」「人間の知性を超えている」などいろいろな意見が生徒から出されました。

そして学校長は続いて次のような問いを投げかけます。「なぜ、肉の味を覚えてしまったのか」「OSO18を誕生させたのは人間だったのでは？」そのことについてどう思いますか？

生徒はまた近くの仲間と意見を交わします。

最後に学校長はこう問いかけました。

いろいろな人の考えにふれたり、いろいろな方向から考えてみたりする。この期間を通してそんな経験をしてみてください。



## 2学年はトレッキングに行きました（5月17日）

今年度の2学年のトレッキングは昨年度と同じく飯盛山でした。しかし、登山の内容が例年と大きく異なりました。まずは、班決めに1・2組混合で行いました。これは生徒からの提案でした。全部で6班作ったわけですが、全ての班が1組の男子と女子、2組の男子と女子が入っている班になっていました。クラスをまぜこぜにした班をつくるという考えも生徒からの提案でした。さらに、班のメンバーも生徒からの提案でくじ引きで決めました。さらに班の中の係について、よくあるのは、統率、保健、食事…ですが、決めた係は班長と副班長だけでした。これも生徒からの提案でした。つまり、今年度のトレッキングは、「5月17日（金）に飯盛山に行く」ということのみが決められていただけで、ほとんどの計画を生徒が自分たちで議論し決めて実行したトレッキングだったというわけです。そして当日、天候は晴天で富士山が目前に見えるほどでしたが、全ての行程が予定どおり進みました。休憩の後などには「2班全員いまいす」「5班全員健康です」と自分たちで決めたとおり担当の教諭に報告が入り、学年全員がスムーズに動いていました。ほとんど全部を自分たちで計画して実行したトレッキングは大成功でした。この経験を今後のいろいろな活動に活かしてくれることを楽しみにしています。2年生達、お見事でした。



## 引き渡し訓練を実施しました

5月20日(月)、15時過ぎに大雨でバスの運行がストップしたり、川の氾濫で通学路が危険になったことを想定して、引き渡し訓練を行いました。昨年も行いましたが、昨年は教室に待機して、保護者に教室まできていただくという計画でした。今年度は、全校生徒が柔道場に集合し、保護者が自家用車で柔道場に横付けしたり、徒歩で迎えに来てもらったりして、避難するという形式に変更して実践してみました。しかもこの訓練を3小学校と同日に実施してみました。実際にやってみないと分からない課題があるので、保護者の皆さんには良い点、改善点などをいただくと今後の参考になりますのでご意見をお寄せ下さい。平日の貴重なお時間を訓練のためにいただきました。ないにこしたことはありませんが、有事の際にはこの訓練がきっと役に立つはずです。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 部活動地域移行平日練習

部活動の地域移行が進み、週末には南佐久の他校と合同チームを組んで練習や練習試合を行っています。今年度は、平日にも地域移行の練習を計画し、5月21日(火)、5月28日(火)、6月4日(火)、9月3日(火)、9月10日(火)の5日間バスを手配して他校で練習したり、小海中に他校の生徒が来たりしながら活動する事になっています。

- ・野球部 保護者会の送迎で浅科中学で合同練習
- ・女子バレーボール部 小海中学で合同練習
- ・女子バスケットボール部 小海のバスに乗り南牧中学で合同練習
- ・陸上部 佐久穂のバスに乗り川上中学で合同練習
- ・サッカー部 佐久穂のバスに乗り川上大深山グラウンドで合同練習
- ・男子バレーボール部 川上のバスに乗り佐久穂中学で合同練習
- ・卓球部 小海中学で合同練習